

## 「まちあるきアプリ」から地域の魅力を考える

### 1. 授業の目的

私たちが暮らす「地域」には、人間や環境などのさまざまな現象が相互に影響し、絡み合っています。本授業では、空間情報科学の立場から地域を分析・研究するための初歩的なスキルと知識を学び、2年生から始まる各専門分野での研究を進めるための基礎を築くことを目指します。

### 2. 授業の概要

・GISを通じたデジタル資料の新しい活用

\*Geographic Information System 地理情報システム

本授業では、モバイル端末で利用できる「まちあるきアプリ」を題材として取り上げ、地域での活用方法を考えながら、資料を読み解く力、論理的思考力、分析能力、プレゼンテーション力等を養う。主な内容は以下。

- ・地域を研究するための基礎的な知識
- ・文献や資料の収集方法
- ・調査結果の分析まとめ方
- ・報告（プレゼンテーション・レポート）

### 3. まちあるきサイト/アプリ「城下町とくしま歴史さんぽ」

- 1)徳島城博物館所蔵資料
- 2)「見どころ」「古地図」の収集・閲覧・切り替え
- 3)アプリの作成・オンラインに閲覧サイトを構築
- 4)まちあるきワークショップ（地域住民向け）

### 4. スケジュール

- ・博物館活動・地域教育、地元地域への還元・貢献
- ・歴史資料からワークショップ運営

#### 1. イントロダクション

2. 「まちあるきアプリ」で地域をみる
3. 地域研究とは何か 気づきをまとめる（グループワーク）
4. 歴史と景観 フィールドワークの方法（グループワーク）
5. 地域の見方・文献の種類と収集方法
6. 様々な分析ツール
7. ワークショップの企画立案
8. 企画会議 1（プレゼンテーション）
9. 企画会議 2（プレゼンテーション）
10. 共通テーマ設定
11. 調査・分析 1
12. 調査・分析 2
13. ワークショップ開催
14. ワークショップのとりまとめ
15. 報告書作成  
（プレゼンテーション・レポート）
16. 総括授業

### 5. 成績評価方法・基準

授業への出席・課題に対する取り組み姿勢(50%)、プレゼンテーション(30%)、レポート(20%)で総合評価します。

#### ■備考

- 1) 授業時間外（休日等）にフィールドワークを行うことがあります。
- 2) グループワークを行うため、無断で遅刻・欠席はしないように。

#### (参考)

- ・ 城下町とくしま歴史さんぽ

<https://www.city.tokushima.tokushima.jp/johaku/rekishisanpo.html>

